



行政視察報告書

令和 6 年 10 月 18 日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 西山博行



下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

【1】大阪府大東市 もりねき企画

住 所	大阪府大東市北条 4-3-9
電 話	072 - 300 - 2050
視察案件	市営住宅及び跡地の公民連携での再生プロジェクトについて
期 日	令和 6 年 10 月 9 日(水) 13 時 30 分から 15 時まで
応 対 者	もりねき企画 代表 竹中雄一様
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	もりねき住宅 等
概 要	大東市の昭和 40 年代に建設された市営住宅の建て替えに関する morineki プロジェクトの概要と公民連携の公営住宅建設の事業費等について学ぶ。建て替えと周辺のまちづくりは岩手県紫波町の紫波中央駅前都市整備事業（オガールプロジェクト）をベースにしている。事業費 16 億 3,000 万円。うちわけは商業施設開発経費 4 億 9000 万円。借り上げ市営住宅開発経費 11 億 4000 億円。建て替えに関する予算 16 億 3,200 万円。うちわけは銀行融資 10 億 3000 万円。大東市優先株あわせて 6 億円。大東市普通株 100 万円。コーミン普通株 100 万円。自治体、地域事業者、地域金融機関が連携して建て替えを行う。自治体にとって借上げ料累計が直接建設の場合を上回らないよう 20 年後をスパンとし借上げ債務負担行為、用途地域変更、周辺の整備を行う。地域事業者は良いデザインの住宅、周辺のテナント誘致等を行い地域の魅力を創出している。もりねき住宅に住みたいと思う住民を増やす取り組み（テナント強化、ワークショップ等）をしている。市営住宅のあり方について多くの示唆があったので、今後参考にしつつまちづくりとともに考えなければならないだろう。
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

【2】大阪府泉佐野市

住 所	大阪府泉佐野市市場東 1-1-1
電 話	072-463-1212
視察案件	オーガニック給食（有機給食）導入について
期 日	令和 6 年 10 月 10 日（木） 13 時 30 分から 15 時まで
応 対 者	泉佐野市教育部学校給食担当理事 田中伸宏 様
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	泉佐野市役所
概 要	数年前から市議会でオーガニック給食導入が提案されていたものの、有機農産物の高価格と地元産がないため難しいとされていた。しかし令和 5 年 5 月に文部科学省からの通知で、地域外からの有機農産物の調達事例が示されたため業者に連絡を取り価格調査を実施。野菜を有機農産物に変更しても費用が想定より安価であることが分かった。食米については地元産率 100%を維持しつつ特別栽培の食米を導入。また地場産野菜が不足する時期は有機農産物を活用する方針とし、関係機関と協議の結果令和 6 年度 4 月からオーガニック給食補助金を新設しオーガニック給食を開始することが決定する。背景には有機農産物を生産している大阪府のバイオ・マーケットがキーになっている。オーガニック給食の単価や導入事例、導入後の反応なども報告。有機農業取組面積拡大、化学農薬使用料低減などの解説もあった。味や体に対するよさは変わらないが、オーガニック給食実施がシティセールスになると期待されている。有機農業を含めた今後の農業の取り組みについて、ビジョンをもって進めている点も非常に参考になった。
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺